

2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月12日

上場会社名 石垣食品株式会社
コード番号 2901 URL <https://www.ishigakifoods.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 石垣 裕義
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小西 一幸 TEL 03-3263-4444
定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	2,975	23.4	133		145		115	
2022年3月期	2,412	13.8	106		118		158	

(注) 包括利益 2023年3月期 122百万円 (%) 2022年3月期 138百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	8.06			15.2	4.5
2022年3月期	13.30			11.3	4.4

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 百万円 2022年3月期 百万円

(注) 2022年3月期の、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。2023年3月期の、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	890	133	14.7	9.14
2022年3月期	1,012	252	25.0	17.70

(参考) 自己資本 2023年3月期 130百万円 2022年3月期 252百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	365	19	43	211
2022年3月期	266	166	122	512

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		0.00		0.00	0.00			
2023年3月期		0.00		0.00	0.00			
2024年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

今後の業績の見通しにつきましては「非開示」としております。詳細は、3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	14,295,700 株	2022年3月期	14,295,700 株
期末自己株式数	2023年3月期	1,780 株	2022年3月期	1,779 株
期中平均株式数	2023年3月期	14,293,921 株	2022年3月期	11,889,733 株

(参考)個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	852	191.5	140		151		121	
2022年3月期	292	1.7	108		124		172	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	8.50	
2022年3月期	14.47	

(注)2022年3月期の、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。2023年3月期の、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	639	301	46.7	20.88
2022年3月期	752	419	55.8	29.38

(参考) 自己資本 2023年3月期 298百万円 2022年3月期 419百万円

2. 2024年3月期の個別業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

今後の業績の見通しにつきましては「非開示」としております。詳細は、3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計) 通期									

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和して経済活動が活性化しました。経済活動の活性化は、サービス業を中心に人手不足による人件費の高騰を引き起こしています。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻による戦争状態が続いたことは、資源や食品の価格が世界的に高止まりさせています。更に、米国で金利の引き上げが行われたことで為替相場が円安傾向となっています。これらの要因からあらゆる商品で値上げが繰り返されており、消費行動が先行き不透明な、厳しい状況が続いております。

食品業界においても、外食産業や業務用商品に限らず、一般消費者向けの商品においても短期間に値上げが繰り返される状況となり、人手不足や資源価格の高騰は、インターネット通信販売業界においても、従業員人件費や輸送コストの上昇を招く恐れがあり、予断を許さない状況が続いております。

このような環境の中で当社グループは、前連結会計年度末に茶製品のファブレス化を行う等の効率化の企図や、第三者割当増資により得た資金による化粧品、雑貨、給食等の新規事業への参入など、事業体制の再構築を行いました。

その結果、売上高2,975,341千円（前連結会計年度比23.4%増）、営業損失133,469千円（前連結会計年度は営業損失106,436千円）、経常損失145,070千円（前連結会計年度は経常損失118,830千円）となりました。最終損益は、ファブレス化にともない成田空港工場を売却したことにより特別利益として固定資産売却益31,274千円を計上したこと等により親会社株主に帰属する当期純損失115,248千円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失158,179千円）となりました。

また、単独の業績につきましては、売上高852,939千円（前期比191.5%増）、営業損失140,106千円（前事業年度は営業損失108,994千円）、経常損失151,788千円（前事業年度は経常損失124,195千円）となりました。最終損益は固定資産売却益31,274千円を計上したこと等により、当期純損失121,464千円（前事業年度は当期純損失172,016千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 食品事業

飲料事業においては、飲料についてファブレス化やラインナップの変更、採算改善のために行った値上げの影響等により麦茶、ごぼう茶、その他健康茶のすべてが減収となりました。またビーフジャーキーも、中国国内市場向けが通年販売となったものの、中国のゼロコロナ政策により販売先店舗が休業した影響で想定より伸びず、また、日本国内向け販売が減収となったことから減収となりました。一方、採算面では飲料についてファブレス化等、珍味について中国国内向け販売が寄与して、赤字が縮小いたしました。これらの結果、売上高287,144千円（前連結会計年度比14.7%減）、営業損失18,984千円（前連結会計年度は営業損失25,403千円）となりました。

② インターネット通信販売事業

インターネット通信販売事業においては、事業採算の改善活動が実を結び、堅調な業績となっています。しかし、現在の組織規模で外部委託業務を削減するなどの効率化を進める中で、さらなる販売増に向けたリソースが不足していたため、成長は限定的なものに留まりました。これらの結果、売上高2,065,534千円（前連結会計年度比0.2%増）、営業利益22,648千円（前連結会計年度比1.6%増）となりました。

③ 化粧品事業

化粧品事業においては、OEM供給商品において多額の売上高を計上し、利益も堅調に計上することができました。一方で、自社ブランド商品においては営業活動が苦戦し、また先行する費用負担が重く、採算を悪化させました。これらの結果、売上高516,803千円（前連結会計年度は売上高なし）、営業損失66,505千円（前連結会計年度は営業損失5,988千円）となりました。

④ 雑貨事業

雑貨事業は、研究用新型コロナウイルス抗原検査キットが好調で、売上高とともに着実に利益を計上することができました。これらの結果、売上高102,957千円、営業利益11,754千円となりました。

⑤ その他

その他の事業においては、前期に計上されたサプリメント商品の輸出売上が無かった一方、当期から開始した給食取扱いによる売上計上等があり、売上高2,901千円（前連結会計年度比79.9%減）、営業利益2,514千円（前連結会計年度は営業損失109千円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当社グループの財政状態は、前連結会計年度末は2022年2月に実施した第三者割当増資により多く保有していた現金及び預金が、当連結会計年度は新規事業への投資等を積極的に行った結果、大きく減少しております。また、前渡金が大幅に減少し、化粧品商品を中心として商品及び製品並びに原材料及び貯蔵品が増加しております。

負債においては長期借入金が減少したこと等により減少しています。純資産においては、新株予約権の発行による収入があったものの大きな影響はなく、親会社株主に帰属する当期純損失の計上により利益剰余金のマイナス残高が増加し、総額が減少しております。これらの結果、総資産に占める負債の割合が増加しました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ301,658千円減少し、当連結会計年度末の残高は211,023千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は365,072千円（前年同期は266,794千円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失の計上額は減少したものの、棚卸資産の大幅な増加や仕入債務の減少があったことに加え、有形固定資産売却益の計上があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は19,217千円（前年同期は166,036千円の獲得）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入31,274千円があったものの、前年同期は投資有価証券の償還による収入100,000千円が計上されていた反動があり、獲得した資金が減少したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は43,449千円（前年同期は122,140千円の獲得）となりました。これは主に、長期借入による収入が計上された一方で、長期借入金の返済による支出もあり、また、前年同期は株式の発行による収入336,249千円が計上されていたことによる反動があり、獲得した資金が減少したものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループの今後の業績の見通しにつきましては、「非開示」とさせていただきます。

その理由は、既存事業の業績はある程度見通すことができるものの、当社グループは現在、新規事業の展開やM&Aの検討を積極的に行うなど、事業体制の大幅な再構築を行っており、それらが業績に与える影響を見通すことができず、現時点では今後の業績の見通しを適正かつ合理的に算定することが困難であることです。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当連結会計年度まで10期連続して親会社株主に帰属する当期純損失を計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループとしては、当該状況を早期に改善・解消すべく対処を行っております。

食品事業においては、茶飲料についてファブレス化や価格改定等による採算改善が効果を発現しつつあり、またビーフジャーキーについても中国国内市場向けの販売が軌道に乗ってきたことから、引き続き事業採算の改善に努めてまいります。

当連結会計年度から本格的に事業を開始した化粧品事業においては、プロモーションの展開等により拡販に努めてまいります。その他、新規事業やM&A等に取り組んでまいります。

しかし、これらの施策は実施途上であり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、連結計算書類は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を連結計算書類には反映しておりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、欧米からの資金調達必要性が乏しいことや、中国生産子会社についても日本国内向け商品の生産を主な活動とし、中国市場向けの販売も日系企業に対するもののみとなっており、実質的に営業活動が日本国内に限定されていることから、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、今後の国際会計基準（IFRS）の導入につきましては、国内外の諸情勢等を踏まえ、適切に対応してまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	522,682	221,023
受取手形及び売掛金	175,628	187,570
商品及び製品	154,644	335,147
原材料及び貯蔵品	11,339	27,652
前渡金	107,401	20,856
その他	12,624	60,737
貸倒引当金	△55	△4
流動資産合計	984,265	852,983
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	0	475
機械装置及び運搬具(純額)	0	5,628
土地	0	-
その他(純額)	460	441
有形固定資産合計	461	6,545
無形固定資産		
その他	3,611	2,607
無形固定資産合計	3,611	2,607
投資その他の資産		
投資有価証券	8,004	7,308
その他	16,554	21,333
投資その他の資産合計	24,558	28,641
固定資産合計	28,631	37,794
資産合計	1,012,897	890,777

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	192,691	139,016
未払金	11,628	13,966
短期借入金	19,100	19,100
1年内返済予定の長期借入金	192,035	136,153
リース債務	1,590	1,647
未払法人税等	6,914	6,844
賞与引当金	2,670	1,448
その他	23,063	30,518
流動負債合計	449,694	348,693
固定負債		
長期借入金	307,903	407,423
リース債務	2,351	703
固定負債合計	310,254	408,127
負債合計	759,949	756,821
純資産の部		
株主資本		
資本金	989,102	989,102
資本剰余金	742,395	742,395
利益剰余金	△1,483,648	△1,598,897
自己株式	△782	△782
株主資本合計	247,066	131,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	△696
為替換算調整勘定	5,881	△514
その他の包括利益累計額合計	5,881	△1,210
新株予約権	-	3,349
純資産合計	252,948	133,956
負債純資産合計	1,012,897	890,777

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	2,412,075	2,975,341
売上原価	1,620,952	2,154,345
売上総利益	791,123	820,996
販売費及び一般管理費	897,559	954,465
営業損失(△)	△106,436	△133,469
営業外収益		
受取利息	41	23
受取配当金	3,047	-
為替差益	63	31
雑収入	7,801	7,876
営業外収益合計	10,953	7,932
営業外費用		
支払利息	8,457	8,362
雑損失	5,272	9,224
株式交付費	9,616	1,947
営業外費用合計	23,347	19,533
経常損失(△)	△118,830	△145,070
特別利益		
固定資産売却益	-	31,274
特別利益合計	-	31,274
特別損失		
投資有価証券売却損	26,931	-
投資有価証券評価損	9,628	-
特別損失合計	36,559	-
税金等調整前当期純損失(△)	△155,389	△113,796
法人税、住民税及び事業税	2,789	1,452
法人税等合計	2,789	1,452
当期純損失(△)	△158,179	△115,248
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△158,179	△115,248

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純損失 (△)	△158,179	△115,248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,710	△696
為替換算調整勘定	△11,786	△6,396
その他の包括利益合計	19,923	△7,092
包括利益	△138,255	△122,341
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△138,255	△122,341
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	816,169	569,462	△1,325,469	△782	59,379
当期変動額					
新株の発行	172,933	172,933			345,866
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△158,179		△158,179
自己株式の取得					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	172,933	172,933	△158,179	-	187,687
当期末残高	989,102	742,395	△1,483,648	△782	247,066

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△31,710	17,668	△14,041	-	45,337
当期変動額					
新株の発行					345,866
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△158,179
自己株式の取得					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	31,710	△11,786	19,923		19,923
当期変動額合計	31,710	△11,786	19,923	-	207,610
当期末残高	-	5,881	5,881	-	252,948

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	989,102	742,395	△1,483,648	△782	247,066
当期変動額					
新株の発行					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△115,248		△115,248
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△115,248	△0	△115,249
当期末残高	989,102	742,395	△1,598,897	△782	131,817

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	-	5,881	5,881	-	252,948
当期変動額					
新株の発行					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△115,248
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△696	△6,396	△7,092	3,349	△3,742
当期変動額合計	△696	△6,396	△7,092	3,349	△118,991
当期末残高	△696	△514	△1,210	3,349	133,956

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△155,389	△113,796
減価償却費	1,308	2,061
投資有価証券評価損益 (△は益)	9,628	-
投資有価証券売却損益 (△は益)	26,931	-
株式交付費	9,616	1,947
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△816	△1,222
受取利息及び受取配当金	△3,088	△23
支払利息	8,457	8,362
為替差損益 (△は益)	△0	31
有形固定資産売却損益 (△は益)	-	△31,274
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,828	△11,296
棚卸資産の増減額 (△は増加)	27,612	△196,098
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,882	△55,155
その他の資産の増減額 (△は増加)	△105,763	38,177
その他の負債の増減額 (△は減少)	△22,507	△463
未払金の増減額 (△は減少)	△42,616	2,337
小計	△259,338	△356,413
利息及び配当金の受取額	3,088	23
利息の支払額	△8,079	△7,985
法人税等の支払額	△2,464	△697
営業活動によるキャッシュ・フロー	△266,794	△365,072
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	66,778	-
投資有価証券の償還による収入	100,000	-
有形固定資産の取得による支出	△552	△7,089
有形固定資産の売却による収入	-	31,274
無形固定資産の取得による支出	△120	-
その他	△68	△4,967
投資活動によるキャッシュ・フロー	166,036	19,217
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	80,000	-
短期借入金の返済による支出	△80,000	-
長期借入れによる収入	64,294	231,781
長期借入金の返済による支出	△276,869	△188,144
リース債務の返済による支出	△1,535	△1,590
株式の発行による収入	336,249	-
新株予約権の発行による収入	-	1,402
その他	-	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	122,140	43,449
現金及び現金同等物に係る換算差額	407	745
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	21,790	△301,658
現金及び現金同等物の期首残高	490,892	512,682
現金及び現金同等物の期末残高	512,682	211,023

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

当社グループは、当連結会計年度まで10期連続して親会社株主に帰属する当期純損失を計上していることから、継続企業の前題に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループとしては、当該状況を早期に改善・解消すべく対処を行っております。

食品事業においては、茶飲料についてファブレス化や価格改定等による採算改善が効果を発現しつつあり、またビーフジャーキーについても中国国内市場向けの販売が軌道に乗ってきたことから、引き続き事業採算の改善に努めてまいります。

当連結会計年度から本格的に事業を開始した化粧品事業においては、プロモーションの展開等により拡販に努めてまいります。その他、新規事業やM&A等に取り組んでまいります。

しかし、これらの施策は実施途上であり、現時点では継続企業の前題に関する重要な不確実性が認められます。

なお、連結計算書類は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前題に関する重要な不確実性の影響を連結計算書類には反映しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、本社が取り扱う製品・サービス別に国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。その際の判断の基礎とする報告セグメントは、主にその取り扱う製品・サービスから「食品事業」「インターネット通信販売事業」「化粧品事業」「雑貨事業」に分類しております。

「食品事業」は、麦茶等の嗜好飲料やごぼう茶等の健康飲料及びビーフジャーキーを生産しております。「インターネット通信販売事業」は、健康食品、化粧品などの美容商材を中心に会員制通販卸サイトを運営しております。「化粧品事業」は、化粧品を販売しております。「雑貨事業」は、雑貨を販売しております。

当連結会計年度より、「飲料事業」及び「珍味事業」の事業セグメントの区分方法を見直し報告セグメントを「食品事業」に集約しております。また、従来「その他」に含まれていた「化粧品事業」及び「雑貨事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については変更後の区分により作成しており、「3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目に関する情報」の前連結会計年度に記載しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	食品 事業	インター ネット通信 販売事業	化粧品 事業	雑貨 事業	計				
売上高									
顧客との 契約から生じる 収益	336,674	2,060,968	—	—	2,397,642	14,433	2,412,075	—	2,412,075
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上 高	336,674	2,060,968	—	—	2,397,642	14,433	2,412,075	—	2,412,075
セグメント間の 内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	336,674	2,060,968	—	—	2,397,642	14,433	2,412,075	—	2,412,075
セグメント利益 又は損失(△)	△25,403	22,298	△5,988	—	△9,093	△109	△9,203	△97,232	△106,436
セグメント資産	109,450	322,548	78,295	—	510,293	2,058	512,352	500,545	1,012,897
その他の項目									
減価償却費	44	1,263	—	—	1,308	—	1,308	—	1,308
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	186	486	—	—	672	—	672	—	672

- (注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ナルト事業等を含んでおります。
2. 調整額は以下のとおりであります。
- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額97,232千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用97,232千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額500,545千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産500,545千円が含まれております。全社資産は、主に当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(差入保証金)等であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	食品 事業	インター ネット通信 販売事業	化粧品 事業	雑貨 事業	計				
売上高									
顧客との契約 から生じる収益	287,144	2,065,534	516,803	102,957	2,972,440	2,901	2,975,341	—	2,975,341
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上 高	287,144	2,065,534	516,803	102,957	2,972,440	2,901	2,975,341	—	2,975,341
セグメント間の 内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	287,144	2,065,534	516,803	102,957	2,972,440	2,901	2,975,341	—	2,975,341
セグメント利益 又は損失(△)	△18,984	22,648	△66,505	11,754	△51,086	2,514	△48,572	△84,897	△133,469
セグメント資産	92,716	387,042	225,386	21,982	727,128	306	727,435	163,342	890,777
その他の項目									
減価償却費	58	1,885	—	—	1,943	—	1,943	118	2,061
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	615	6,150	—	—	6,765	—	6,765	295	7,060

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、給食事業及びサプリメント事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△84,897千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△84,897千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額163,342千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産163,342千円が含まれております。全社資産は、主に当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(差入保証金)等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
1株当たり純資産額	17円70銭	1株当たり純資産額	9円14銭
1株当たり当期純損失	13円30銭	1株当たり当期純損失	8円06銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載していません。	

(注) 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失(千円)	158,179	115,248
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(千円)	158,179	115,248
期中平均株式数(株)	11,889,733	14,293,921

(重要な後発事象)

該当事項はありません。